



2017-2018年度

クラブ運営方針 ▶ 「温故創新」

# 広島北ロータリークラブ週報

ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

Vol. 1530  
2017年11月16日発行 Club of Hiroshima North



広島北ロータリークラブ ■会長 東 正治 ■幹事 越智 健剛

事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
E-Mail: hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/

設立 1969年4月24日 承認 1969年6月28日  
例会 毎週木曜日 12:30 会場 ホテルグランヴィア広島

## 本日の例会 2017年11月16日(木) 第2335回

ロータリーソング 「われらの生業」  
 来客紹介 親睦委員会  
 連続出席表彰  
 会長時間  
 幹事報告  
 委員会報告  
 同好会報告  
 卓話時間  
 『SAAとニコニコの歴史』  
 SAA長 畑 秀樹 会員  
 ニコニコ委員長 本田 善昭 会員

## 前回の例会 2017年11月9日(木) 第2334回

国歌斉唱  
 ロータリーソング 「奉仕の理想」  
 四つのテスト唱和 職業奉仕委員会  
 来客紹介 親睦委員会  
 誕生日お祝い  
 会長時間  
 幹事報告  
 委員会報告  
 卓話時間  
 『新会員自己紹介』  
 菊地 敬 会員/林谷 浩二 会員/高見 仁 会員

●●●●●●●●●● 誕生日お祝い ●●●●●●●●●●



左から、武部会員・樽本会員・古田会員・塩本(能)会員・三保会員・庄子会員・泉会員 (欠席者: 松本会員・石井会員)

おめでとうございます!

●●●●●●●●●● 会長時間 会長 東 正治 ●●●●●●●●●●

まずは、うれしいお知らせです。中尾会員が秋の褒章で、保護司として藍綬褒章を受章されました。クラブとして大変な誇りであり、おめでとうございます。

例会が2週飛びましたので3週間ぶりの例会となりますが、その

間、先月末に岩国にて地区大会が行われました。

まず27日に和木ゴルフクラブにおいて晴天のもと、記念ゴルフ大会が行われ、山下正司会員、久保豊年会員、丸本会員の3名の会員が出場しました。結果は本人にご確認ください。

28日には、台風が近づく中、エクスカーションとしまして岩国米軍基地への見学がありました。普段入ることのできない場所への見学ということもあり、多くの方が参加されましたが、北朝鮮情勢の関係かどうか、なかなか思うところが見られず、残念であったとの意見がありました。会長幹事会では、クラブの活性化というテーマで、「会員増強と、クラブ運営の柔軟性」について話があり、中には例会を月2回にしたというクラブもありました。

その他、クラブ独自で特色を活かしたクラブ作りをして、魅力あるクラブを作り会員増強に努めてほしいとのことでした。

また、表彰では当クラブは、米山記念奨学金寄付総額賞を地区で4位となり表彰されました。

そして、夜には多くの会員が岩国に前乗りし、インフォーマルミーティングを行い、親睦を深めることができました。下前理事を始め親睦委員会のみなさん、設営ありがとうございました。

29日の本大会には 天気の悪い中、55名もの会員に参加いただきました。午前中の表彰では永年連続出席者として、46年の山本会員、41年の久永会員が表彰されました。

山本会員は地区で9番目の長さです。是非これからも健康に留意され永年連続出席を続けて頂きたいと思っております。

午後からは脳科学者の黒川伊保子先生による、「男と女の脳科学～脳が作り出す男女のミゾ、人生の波～」という記念講演がありました。女性と男性の脳の感じ方の違い等、興味深い話で、大変好評でみなさん最後まで熱心に聞いていました。話を聞いて反省したり納得する会員がたくさんいらっしゃいました。

11月はロータリー財団月間です。その一環としまして11月3日に行われたひろしま平和国際マラソンに、ポリア撲滅広報マラソンとして、「エンド・ポリオ・ナウ」の帽子・Tシャツを着用し総勢30名で参加し、全員元気で完走してまいりました。

また、たくさんの応援に来ていただき、沿道に「エンド・ポリオ・ナウ」広島北RCの旗がはためいており、ポリア撲滅と広島北RCのことを少しでも知って頂ける機会になったのではないかと思います。

久保理事を始めロータリー財団委員会の皆さん、参加して頂いた皆さん、ありがとうございました。

また、ロータリー財団月間に関連し今月の第3例会では、財団プログラム委員会による卓話が予定されております。山内委員長よろしくお願いたします。ロータリー財団をよく理解して頂き、ロータリー財団へのご協力よろしくお願いたします。

●●●●●●●●●● 幹事報告 幹事 越智 健剛 ●●●●●●●●●●

《理事会報告》  
\*第4回定例理事会報告 (後日、HPIに議事録をUPLします)

《お知らせ》  
\*地区大会「友愛の広場」にて、当クラブの「小さな祈りの影絵展」の紹介パネルが展示されました。会場後方にパネルを置いていますので、是非、ご覧下さい。





平二さんの息子さんと、頻繁にご実家に入出入りさせて頂いては、遅い時間まで大騒ぎして親交を深めさせて頂きました。平二さんご家族には、おそらく多大な迷惑をおかけしていたことと思います。すみません。

両親は医師でしたが違う方向を目指すことになり、慶應義塾大学に進学しました。その後、友人が大学3年次に司法試験を受けると言い出し、その流れで司法試験を受け、運よく合格し、大学卒業後、2年間の研修生活を経て、東京地検の検事に任官しました。

その後、大阪地検、和歌山地検、東京地検、さいたま地検、山形地検米沢支部長、大阪地検という順に転勤を繰り返し、在外研究で、ロンドンに参りました。ロンドンでの生活は、訪問先の機関に自分で連絡を入れ、法制度の調査をするというものでしたが、英語が苦手なので、「contact to us(連絡はこちらへ)」の窓口と間違え、「contract to us(契約はこちらへ)」の窓口でメールを出すとか、恥かしい思いをしながら過ごしましたが、大変よい思い出となりました。

その後、大阪地検に戻り、法務省矯正局、東京地検立川支部を経て、退官し、故郷の広島に戻りました。

検事というのは、警察と協力し、あるいは自ら、犯罪の疑いのある事象を発見し、証拠を集め、それを起訴するかどうかを決め、起訴したら、法廷でその立証に努め、求刑するというのが仕事です。

検事時代は、3分の1くらいを警察と一緒に捜査をする部署で過ごし、3分の1くらいを、検察庁だけで捜査をする特別捜査部という部署で過ごし、3分の1くらいを、法務省の役人として法律の立案とか条約の締結の交渉とか政務三役の国会答弁の準備などを担当して過ごしました。

約14年間にわたり、全国転勤に付き合ってくれた家族には大変迷惑をかけましたが、故郷の広島に戻り、転勤がないということで家族も本当に喜んでくれております。

広島に戻りましてからは、広島弁護士会に登録し、最初は研修時代の同期の事務所で仕事の手習いをさせてもらい、その後、同じ検察OBの弁護士とともに、現在の富村・林谷法律事務所という事務所で仕事を始め、現在、丁度1年6か月ほどが過ぎようとしているところです。

一般の民事事件、行政機関との対応を要する企業の法律問題などを扱いながら、法務省・検察庁・警察学校などで、捜査現場におられる後輩とか刑務官の皆さんに講義させて頂いたりしながら、半官半民のような少し変わった弁護士活動をしています。何分分からないことも多いですが、頑張っって参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

**高見 仁 会員**  
(10月5日入会)  
**高見製函(有)**  
**代表取締役社長**

10月5日に石田平二さんと岡田昌樹さんのご推薦をいただき、歴史と伝統ある広島北RCに入会しました。

高見仁でございます。

生まれは1976年、昭和51年1月で現在41歳です。広大付属東雲小学校から広島城北中学高校を経て、関西大学商学部に進みました。福永誠一さんと先ほどの林谷さんとは城北の同級生です。また石田平二さんの息子さんとは中学時代からの親友というご縁をいただいており、家に遊びに行っていた25年ほど

前に初めて石田平二さんにお会いしたのが思い出されます。まさかこうしてロータリーに誘っていただけるとは当然思いもよみませんでした。大学卒業後は、ゼミの教授に随分かわいがっていただいて、研究の後継者にならないかということで大学院に進みました。大学院の博士課程も修了し、オーバードクターとして2年目を過ごしていた時、子供ができてまして学生生活を継続することが困難となり、就職活動をしたものの、社会人経験のない28歳を雇ってくれる会社などあろうはずがありません。何とか博士号は取得し、2005年4月にあえなく実家である高見製函有限会社に戻って働くこととなりました。

当社は1937年、昭和12年に創業し、今年で80周年を迎えました。私が3代目の社長となります。戦前は帝国陸軍糧秣支廠の指定工場として、大陸に向けた食糧品等を宇品から輸出するための梱包木枠を作っていたと聞いております。原爆で工場が倒壊した戦後には建材を製造していた時期もあったようですが、自衛隊発足にともない弾薬梱包用木箱を製造するようになりました。自衛隊の装備が拡充していくにつれて当社も官需比率が高まり、現在では弾薬木箱の専業メーカーとなっています。製品のほとんどを填薬メーカーである呉の中国化薬さんに納入しており、これらは主に陸上自衛隊向けとして、戦車砲、迫撃砲、りゅう弾砲や信管を輸送したり貯蔵したりするために使用されます。10年前の社員旅行では富士の総合火力演習も見学に行きましたが、実際に当社で作った木箱が使われているのを見て社員も感動したようです。現在67歳である私の父が2代目でありまして、2005年の入社後、3年間ほど現場で工員として働いた後に副社長となり、2009年4月に社長に就任しました。33歳の時でしたので社長になってから8年になります。この社長交代には私のJC入会も絡んでいますので、次にJCについてお話しします。

2009年1月に広島JCから勧誘を受けまして、父に相談しましたが、てっきり反対されるものと思って相談したんですが、「人に付いて歩きゃあ得るもんもあるじゃろ。」と予想外のOK。

ただその条件が、「JCやるなら社長としてやれ。」というもので、JC入会と同時に社長に就任した次第です。

広島JCに入りましてからは、なにぶん学生から実家の会社に直で入って社会経験がゼロに等しいものですから、とにかく何でも一回口に入れてみよう。口に入れてみて判断しよう。そのために嫌だとか痛いとか痒いとか一切言わずに取り組んでみようと思っていました。入会した頃は、自分も含めて誰も私が理事長をすることになるとは思わなかったと思いますが、昨年2016年には広島JCの第66代理事長を務めました。岡田昌樹さんが2002年、第52代理事長ですので14代後になります。この理事長の年には広島でJCの全国大会が開催されました。この場におられる皆様のなかにもご支援やご協力を頂いた方も多くおられることと存じます。その節はお世話になりました。ありがとうございました。広島での開催は全国最多の4度目。中国醸造の白井龍一郎さんが理事長をされていた1985年以来31年ぶりの開催でした。参加実数で全国から1万3000人。国内のコンベンションとしては最大規模の大会です。その大会4日間でスピーチすること大小合わせて27回。お迎える立場の主管JCの理事長として去年1年間だけではなく、それに至る数年間の忙しい日々でしたが、最高の経験をさせてもらうことができました。そのJCも理事長の役職と共に昨年卒業となり、さて今後どうするか、というところに今回声をかけて頂いた次第です。

基本的に、大きな流れには逆らわない。大きな流れというのは自らが操作しうる範囲を超えたものであって、運命ともいえるものです。自分にできるのは大きな流れのなかをどのように泳ぎ切るかということだけだと考えています。これまでお話したように、割と人生における出来事の順番が滅茶苦茶だったりまして余り深く考えず場当たりに飛び込むタイプなんですが、運の良さを武器にしながら目の前のことには一生懸命取り組むように心



がけています。皆様から多くの刺激と学びを得て、何が起るかわからないワクワクの人生を泳ぎ切ろうと考えておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

■出席報告 出席委員会

2017年11月9日(木) 会員数 97名  
出席 82名 欠席 15名  
名誉会員 1名 来客 1名 ゲスト 1名  
10月12日例会 修正後出席率 100%

■来客者紹介 親睦委員会

久保 弘睦 様(広島陵北)  
ホゴントール・テルマン君(米山奨学生)

■次回例会案内 2017年11月30日(木)

会場 ホテルグランヴィア広島4F悠久の間  
卓話 『ロータリー財団の歴史と現状を学ぶ』  
財団プログラム委員長 山内 盛利 会員  
食事 100万ドルの食事(中華)



●●●●ポリオ撲滅活動広報事業報告●●●●



会報IT委員長 榎本 陽輔 会員

昨年に続き、今年も第37回を迎える「ひろしま国際平和マラソン」に参加しました。

当クラブではポリオ撲滅広報活動のため今年も総勢30名が参加をしました。

私は前年と同様にチャレンジコース(10km)エントリーをし、私を含めてチャレンジコースは5名でした。

今年は例年以上に天候に恵まれ、気温もかなり高く、レース前から汗ばむようなコンディションでした。

ビギナーコース(5km)スタートの後、私たちチャレンジコースの参加者約7000名がほぼゼッケンナンバー順に整列をしていくにつれてボルテージがだんだん高くなり、スタートを切りました。

庚午橋を渡りきるくらいから先にスタートしていた5キロコース参加のクラブメンバーと挨拶を交わしながら楽しく軽快に走って行きました。ところが折り返し5キロ地点を過ぎたぐらいからかなり汗をかいたせいか6キロを過ぎたぐらいから前から癖になっていた左足が軽くつり出したため大幅にペースダウンを余儀なくされました。

7キロ付近では走っている途中右側の歩道で倒れている人がAED処置をされているのを見てちょっと怖くなり無理なく完走することを心がけました。その後の道のりでも数人倒れていました。最終的には昨年よりも6分遅れでしたが何とか1時間7分台で無事完走することができました。

今年は日頃から全くRUNのトレーニングをせずにいきなり参加したことが大きな要因なので時間を見つけてこまめにトレーニングを行い、来年はタイム大幅アップでリベンジしたいと思います。



全員無事完走できました！